

公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区 富山ブロック協議会

事務局

事務局長 古村 昂一

現 状 分 析	<p>富山ブロック協議会は、1県1青年会議所の設立精神に基づき県内9LOMがー丸となって運動を展開し、対外的評価を高めてきました。これは、会議の統括を行う部門として事務局が成立し、歴史とともに効率的な会議運営が確立されてきたことが、良質な事業の構築に結びついたためです。合議制によって、黎明期より整備されてきた会議から事業へと繋がる運営の流れは、組織として確実に継承を行っていく必要があります。そして、メンバーがより一層効果的に質の高い事業を構築し、実行できるよう、富山ブロック協議会の全ての活動、運動の根幹となる会議の場において統制の取れた運営を図る組織が必要です。</p>
目指すべき状態	<p>メンバーの事業構築を効率的に支えられるよう、円滑な議事進行を心掛けて有意義な議論を行えるように会議を運営し、計画から報告に至るまで議案上程者と会議出席者の負担軽減を図ることにより、メンバー間において積極的に活動、運動を構築しようという意識が高まり、富山県民に対してより効果的なJC運動を展開することが可能となる状態。</p>
連 携 概 要	<p>■各種会議の設営及び運営と議事録管理 ■ブロック全体会議（2回）の開催</p>
S D G s	<p>【17】</p>
政 策 手 法	<p>■各種会議の設営及び運営と議事録管理 会議においてより有意義な議論が可能となる環境とするため、上程議案送付の期日厳守を徹底し迅速に会議資料を作成するとともに、会議資料の事前配信を行い、議案上程者や会議出席者が会議前に余裕を持って内容を確認できる期間を創出することで、メンバーの良質な事業構築と円滑な事業展開を支える会議となります。また、適正な議事録管理を行うために、作成と保管の担当者を明確にして職務を分担することで、不備の無い効率的な管理体制となります。</p> <p>■ブロック全体会議（2回）の開催 富山ブロック協議会ならびに県内9LOMの活動、運動方針を理解するために、年度当初にメンバーが集まり活動、運動の方向性を認識し、メンバーが一致団結できる場を設けることで、年間を通した効率的なJC運動の展開を図ることが可能となります。また、年度末には富山ブロック協議会の1年間の事業の成果や検証した内容を共有するために、メンバーへ報告する場を設けることで、次年度におけるJC運動の効率的な展開へ向けた、円滑な事業継承の機会となります。</p>
そ の 他	<p>■基本資料の作成 2020年度の富山ブロック協議会の基本情報や活動、運動方針を発信するために、正確な情報を記載した基本資料を作成します。</p> <p>■地区フォーラムとなみ大会の支援 大会への参加率を向上させて運営を最大限に支援するために、事前案内やスケジュールなどの情報をメンバーへ迅速に案内します。</p> <p>■庶務全般 事務局の職務効率化を図るために、書類や物品を適正に管理します。</p>